



特集

没後110年特別展 田中芳男 大博覧会

田中芳男の資料を整理する学芸員
【美術博物館 地下倉庫】

10月から始まる特別展では、3年前に寄贈いただいた田中芳男関連資料、約1,500点の中からえりすぐりの逸品を展示します。

没後110年特別展

田中芳男大博覧会

皆さんは飯田市出身の偉人「^{たなか よしお}田中芳男」を知っていますか。
しよくさんこうぎょう

「日本の博物館の父」ともいわれ、近代日本の殖産興業政策を推進した人物です。その生涯は日本の「学問」が成立していく歴史の一部であり、日本の博覧会・博物館の成り立ちそのものでもありました。

美術博物館では没後110年の節目に合わせ、田中が尽力した万国博覧会の資料や、当館へ寄贈いただいた資料約200点などの初披露も兼ねて、田中芳男が創造した豊かな知の世界に迫る特別展を開催します。

※殖産興業政策とは…

明治時代初期の産業政策のスローガン。生産を増やし、産業を興せという意味。

☎ 問い合わせ／美術博物館 ☎0265(22)8118



田中 芳男

(1838~1916)



ぶつびんしきめいしゅうい
物品識名拾遺（田中のメモ書きが残る）

内国勸業博覧会錦絵



特別展の概要

会期 10月10日(土)~11月15日(日)

観覧料 500円、高校生以下無料

特別展記念トークショー

「“田中芳男”になった私」

日時／10月18日(日) 13:30~15:00

場所／鼎文化センター

出演／いとうせいこうさん（クリエイター、作家）

申込方法／美術博物館HPをご覧ください。

ワークショップ

「田中芳男にちょうせん〜撮写体験〜」

日時／特別展期間中の土・日曜日

10:00~12:00、13:30~16:00（自由参加）

場所／美術博物館ロビー

講師／飯田・城下町サポーターの皆さん

特別展のみどころ

幕末から明治時代は、近代的な新しい制度が次々と整備された激動の時代。田中は生真面目さと多才さゆえに、その最先端に立って、さまざまな役目を負うことになりました。田中の業績を振り返れば、日本が近代化していく過程がみえてきます。

新しい日本語が生まれていく

この時期の日本では、近代化を推進していくために、西洋の思想や学問をいち早く取り入れ、理解する必要がありました。その最短の方法が、外来語を日本語に翻訳することでした。福澤諭吉たちが膨大な洋書の翻訳作業に明け暮れ、「哲学」「社会」「自然」「美術」といったそれまでの日本にはなかった新しい概念が生まれていきました。田中もまた翻訳や名付けの作業に積極的に取り組み、「ことば」と向き合った1人でした。中でも、アメリカ人が食用していた「球根向日葵」^{ひまわり}を「菊芋」と命名した話が知られています。

「博覧会」と「博物館」

江戸幕府の役人から明治政府の事務官となった田中は、殖産興業政策推進のため「博覧会の開催」と「博物館の設置」に尽力しました。海外の万博を視察し学び、国内では中心的な立場で数々の博覧会を手掛けてきました。田中にとっては、従来の日本には存在しなかった「博物館」という全く新しい制度を根付かせることも、殖産興業政策推進の延長線上にありました。



ふくさ
1867年パリ万博記念の袱紗



比類なき記録魔

田中は、自ら見聞したことをいろんな方法で記録し、自らの研究や教育活動に生かそうとしてきました。その記録方法や伝達方法にも並々ならぬ関心を寄せ、当時最新の技術を取り入れてきました。しかし田中が生涯こだわり続けたのは、江戸時代の本草学^{ほんそうがく}の手法^{とうしゃ}に由来する「撮写法」でした。

※本草学とは…
薬品の元となる植物などの効果を研究する学問。

※撮写法とは…
墨を使って対象物を紙の上からこすり、写しとる複写技法。

撮写図(カレイの干物)



「知」をプロデュースする

若き日の田中は、自身で国内や西洋由来の穀物、野菜、花などの栽培実験を行う一方、画工たちに西洋の動植物図の描写法を習得させ、知識普及のための動植物の図譜（図鑑）を作成していました。

政府官僚になったあとも、幕府の役人時代に身に付けた農作物の栽培普及書刊行のノウハウなどを生かし、指導的な立場から新たな“知”を目に見えるかたちで次々と生み出していました。

「東北之果王」揚写図

男爵誕生

田中は、政府官僚時代には博覧会および博物館の制度を日本に根付かせる最前線に身を置き、官僚を退いてからは貴族院議員となり農林水産関係の主要団体の要職を歴任しました。これらの勲功により、大正4年（1915）に男爵の爵位を授けられました。爵位を授かる対象は、明治維新の功労者たちを除けば家柄で決まる制度でした。平民出身の田中は家柄に関わらず爵位を与えられた数少ない人物といえます。



田中ビワ



田中芳男は「鳥なき郷の蝙蝠」^{こもり}（すぐれた人のいないところではつまらぬ者が幅を利かせる）と自身を謙遜していますが、実に多方面にわたって足跡を残しました。それは当時の日本人にとって全く未知の分野の先頭に立ち、手探りで道を切り開く挑戦の日々でもありました。残念ながらその幅広い功績は、後世の各分野の専門家たちの中で「アマチュアの仕事」として埋もれていく運命にありました。しかし、田中がまいたさまざまな「知の種」は、日本の近代化へと結びつける大いなる礎となりました。何よりそれらはすべて、人々の暮らしが豊かになることを誰よりも切望し、奔走し続けた結果だったのです。

田中芳男をめぐる人びと

飯田時代

1838～1856年、
1861年

田中家の原点（千村陣屋）

ちむら
千村家（尾張藩旗本／主君） 北原家（庄屋／田中家の恩人）
ほんぞうか
市岡家（千村陣屋の重臣・本草家） 奥村家（親族）



田中 芳男
(1838～1916)

名古屋時代

1856～1860年

勉学に励み才能を見出される

伊藤 圭介（医師・本草家／恩師）、いいぬま よくさい飯沼 慾斎（医師・本草家）、
やながわしゅんざん千村 五郎（英学者／同門）、柳河 春三（洋学者／同門）

幕府出仕時代

1861～1868年

エリートたちとともに飛躍の礎を築く

ばんしよしらべしやうどうどりすけ勝 海舟（政治家／蕃書調所頭取助） おやといシーボルト（御雇外国人・医師・博物学者）
おがた こうあん緒方 洪庵（医師・蘭学者／西洋医学所頭取）
つだ せん津田 仙（農学者／ウィーン万博審査官、津田梅子の父）
たかはし ゆいち高橋 由一（画家／洋書調所画学局）
ようしよしらべしよがくきよく渋沢 栄一（実業家／パリ万博会計掛、ウィーン万博御用掛）
みづくり りんしやう箕作 麟祥（洋学者／パリ万博随行）



(1869年)

政府官僚時代

1868～1883年

職務に忠実な学術官僚

おおさかせいみきよく【大阪舎密局】→ だいがくなんこう【大学南校】→ 【文部省】→ 【内務省】
→ 【農商務省(物産局・博物局・勸農局・農務局)】
大久保 利通（政治家／内国勸業博覧会総裁）
大隈 重信（政治家／ウィーン万博総裁）
まつかた まさよし松方 正義（政治家／勸農局長） まえじま ひそか前島 密（政治家／博覧会事務局長）
大鳥 圭介（政治家／内国勸業博覧会御用掛）
さの つねたみ佐野 常民（政治家／ウィーン万博副総裁）
ワグネル（御雇外国人／ウィーン・フィラデルフィア万博事務官）
おの もとよし小野 職愨（植物学者／大学南校・博物局） はっとり せつさい服部 雪斎（博物画家／文部省博物局）



(1873年)

政治家時代

1883～1916年

政界の知恵袋として重宝される

【元老院議員】1883～1890年 【貴族院議員】1890～1916年
品川 弥次郎（政治家／大日本山林会・水産会・農会幹事長）
えのもと たけあき榎本 武揚（政治家／東京農学校創設） とやま まさかず外山 正一（社会学者・政治家）



(1903年)

田中を慕う 研究者

年齢差問わず互いに情報交換

いとう とくたろう牧野 富太郎（植物学者） 伊藤 篤太郎（植物学者／伊藤圭介の孫）
ひらせ よいちろう松原 新之助（水産学者／水産講習所長） 平瀬 與一郎（実業家・貝類研究家）

「りんごん」の掛け声に合わせて踊る 飯田まつり飯田りんごん



元気いっぱいに踊る千代小学校連



りんごん大賞のBBA

45回目の飯田りんごんを8月1日に開催し、地域、企業、学校、友人などで構成された85連、約4,500人が踊りました。市産業親善大使のニッチローさんもユニホーム姿で登場し、参加者にエールを送りました。

昼間のふれあいアップルタウンでは、飯田東中学校の生徒によるイベントや商栄会の出店などで、多くの人が楽しみました。

みる人 演じる人 支える人 みんなが主役 いいだ人形劇フェスタ



てぶくろ (人形劇団ボボロ)



午前6時開始のアーリーモーニング公演

7月30日から8月2日に開催し、4日間で約300公演が行われました。プロ劇団から市民劇団、学生劇団など全国から約260劇団が参加し、工夫を凝らした演目で観客を魅了しました。

運営には中学生・高校生が多数スタッフとして関わり、グッズ販売や会場アナウンス、受付などで活躍していました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

二地域居住を推進する コンソーシアムを設立



龍江地区の交流拠点「HIGASA」でイベントを開催（7月20日）

市とJR東海、株式会社SUITEN、Airbnb Japan 株式会社の4者で二地域居住（主な生活拠点は別の特定の地域に生活拠点を設ける暮らし方）を推進するコンソーシアム（連携組織）を設立しました。

東野地区こども寺子屋で 防災教室を開催



パッククッキングで作ったプリンを試食

7月28日、東野地区「こども寺子屋」で小学生30名が、高木一代教授（飯田短期大学）などから防災について学びました。ペットボトルのランタン作りやポリ袋を使ったパッククッキング体験をしました。

焼肉とロックの共演 焼来肉ロックフェス



タレント「はなわ」さんのステージ

「氣志團」や「キュウソネコカミ」、「HEY-SMITH」などが出演し、7月18日・19日に野底山森林公園で開催されました。県内外から多くの方が訪れ、音楽だけでなく、飯田焼肉や水引体験なども楽しみました。

親子交流施設基本構想検討 第2回市民会議



市民会議には高校生や子育て世代の委員もいます

7月22日、思いきり遊べる親子交流施設の基本構想を検討する市民会議を開催しました。佐々木宏幸教授（明治大学）の講演後、3つのテーマ（背景、価値、願い）についてグループワークを行いました。

現代版 養生訓

脳神経内科
桃井浩樹 医師

認知症の予防

現在、日本における認知症高齢者の数は約560万人、MCI(軽度認知障害)の約470万人と合わせると1000万人を超えていると推定されています。高齢化社会となり、認知症は誰もが避けて通れない問題かもしれません。

そんな認知症を防ぐ手立てはあるのでしょうか。海外の論文に認知症の発症に関わる14の修正可能な因子が示されています。

具体的には、

- ①教育歴 ②難聴 ③高血圧 ④肥満
- ⑤喫煙 ⑥うつ ⑦社会的孤立
- ⑧運動不足 ⑨糖尿病 ⑩過度の飲酒
- ⑪頭部外傷 ⑫大気汚染 ⑬視力障害
- ⑭脂質異常症

です。

これらの因子を修正することで認知症になる可能性を45%低減できるとされます。中でも脂質異常、

高血圧、糖尿病、喫煙、難聴、運動不足、肥満、うつなどについては青年期～中年期、また、視力障害や社会的孤立は老年期において予防、改善することが必要と言われます。

これらの因子は個人個人の生活習慣や環境の工夫、努力によって改善できる可能性があります。もちろん積極的に治療することも必要です。大切なのは特別なことではなく日常生活の積み重ねです。若い頃は学びや読書などで脳を使う習慣を持ち、中年期には血圧や体重、聴力の管理、適度な運動やバランスの良い食事、禁煙、節度ある飲酒に心がけ、老年期にはメガネや補聴器の活用、転倒予防、人とのつながりを保つことが重要です。

認知症の予防が出来るなら、今日から心がけてみませんか。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.64

ワクワクが止まらない学び

市長室から

市長 佐藤 健

その「看板」が下伊那農業高校の校地の角に設置されたのは、5月のGW明けだったでしょうか。グリーン、オレンジ、ピンクの色も鮮やかに、今年度から再編された同校の3つの学科が紹介されています。

栽培科学科は「野菜×果樹×IT=栽培科学」、地域資源科は「おいしいを科学し伝統を未来へ結ぶ」、生物科学科は「いのちを育み暮らしを彩る」とそれぞれの学科に付けられたコピーも魅力的ですし、生徒の皆さんが描いたイラストも可愛いのですが、私にはそのイラストに添えられた「ワクワクが止まらない学び」という言葉がひときわ光って見えました。

自分の小中高大の学生時代を振り返っ

てみたとき、残念ながら「ワクワクが止まらない」なんていう学びの記憶はありません。きっと「用意された答え」に早く正確にたどり着く訓練ばかりを積み重ねていたのでしょう。

学生時代でなくても、「ワクワクが止まらない学び」に出会えたら幸せですね。以前紹介した「ムトスの学び」は、何も小中学生のためだけのものではないと思います。自らの問いや願いをもとに学びを深め、好きや得意を見つけることができれば、その人の人生はきっと豊かなものになります。今流行りの「推し活」も、「ワクワクが止まらない学び」なのかもしれません。

皆さんの「ワクワクの種」は、何ですか？

南信州・木曽をむすぶ、新しい旅のルート

定期周遊
バス

「飯田☆中津川線」 運行スタート!

飯田・天龍峡・昼神温泉から、歴史ある中山道・馬籠宿や中津川へ。
マイカー・レンタカーがなくても、日帰り観光や温泉街へのアクセスが可能になりました。
豊かな自然と歴史を感じる、特別なバス旅に出かけませんか?

運行期間

9月1日(火)～2029年3月31日(土)

12月1日～3月19日は運休。

※運行期間は変更する場合があります。

運賃

1,500円(どこで乗降しても同一)

※大人・子ども同一運賃。

※1歳以下で座席不要の場合は無料。

★運行時刻表

方 面	停 留 所	午 前 便	午 後 便
飯 田 駅 ↓ 中津川駅	飯 田 駅 前	9:00	14:15
	伊賀良バス停	9:13	14:28
	昼 神 温 泉	9:37	14:52
	馬 籠	10:05 ※降車のみ	15:20 ※降車のみ
	中津川駅前	10:22	15:37
中津川駅 ↓ 飯 田 駅	中津川駅前	10:25	15:40
	馬 籠	10:45 ※乗車のみ	16:00 ※乗車のみ
	昼 神 温 泉	11:13	16:28
	天竜峡駅前	11:32	16:47
	伊賀良バス停	11:51	17:06
	飯 田 駅 前	12:00	17:15

◎馬籠 ↔ 中津川駅のみのご利用はできません。馬籠線をご利用ください。

乗車・支払い方法は
市ウェブサイトから
ご確認ください。

お
問
い
合
わ
せ

【バス運行・当日の状況に関するお問い合わせ】

●南信州広域タクシー(有) ☎0265(28)2800

【WEB予約・ツアーに関するお問い合わせ】

●(株)南信州観光公社 ☎0265(49)4737 ※土・日曜日、祝日を除く

【事業全体に関するお問い合わせ】

●飯田市ツーリズム振興室 ☎0265(49)4988 ※土・日曜日、祝日を除く

※この事業は、長野県宿泊税活用事業により整備されたものです。



ID 141222